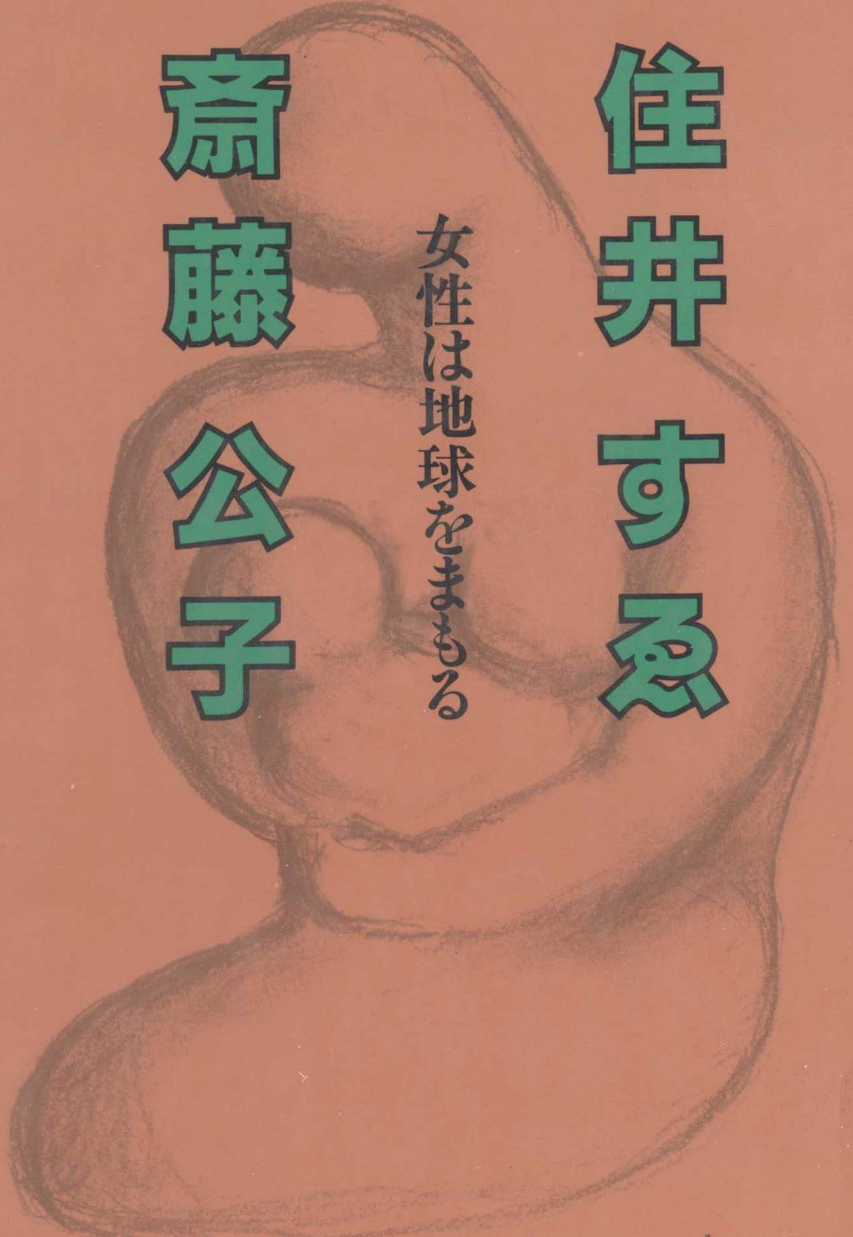




住井 すゑ

女性は地球をまもる

斎藤 公子

創 風 社

対 談

住井すゑ 斎藤公子

女性は地球をまもる



女性は地球をまもる

定価 1200円

1987年1月15日 第1版第1刷印刷

1987年2月1日 第1版第1刷発行 ©

著 者 住 井 す ゑ
齋 藤 公 子

発 行 者 千 田 顯 史

発行所 株式 創 風 社
会 社

〒113 東京都文京区本郷4-17-9-601
電話 (03) 818-4161 振替東京2-129648

落丁本・乱丁本はお取替えいたします。

印刷・製本 KMS

ISBN4-915659-04-6

目次

第一部 いのちをまもう……………住井 すすゑ 3

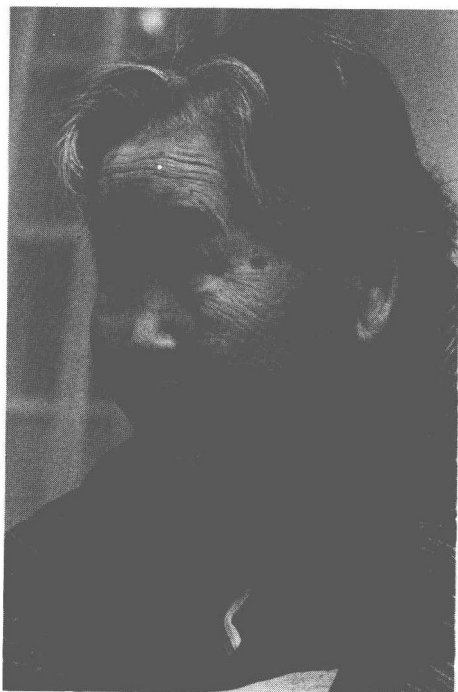
第二部 対談……………住井 すすゑ 35
斎藤 公子

第三部 女性は地球をまもうということ……………斎藤 公子 123

女性は地球をまもる

第1部

いのちをまもろう



住井 すすゑ



パ ン (ケーテ・コルヴィッツ)

〔第三二回日本母親大会記念講演〕

みなさん、こんにちは。暑いところごろうさまです。きわめて進歩的な新人類でいらっしやるみなさまの前に、旧人類が出現しました。

なるほど、あの服装では旧人類だな、みわたしても和服というのは私一人なんです。非常に个性的である。こういう暑いさなか、旧人類の話をきくことも、一服の涼かとも思っています、ここにあらせていただきました。よろしく願います。

それにしましても、このような多くの人々にお目にかかる身のしあわせ、やはり生きていてよかったなと思います。

いったい、いくつになるんだろう、と御心配のむきもおありかと思っています。一九〇二年（明治三五年）生まれの八四歳でございます。もうあと一〇年は仕事をしたいとよくばっています。その一〇年の今日は出発になるんじゃないかと思っています。

それにしましても、みなさまの運動がなければ、今日こうしてお目にかかることはできない。いいたいほうだいをいわしていただく身のしあわせ、ひとえにみなさまのおかげです。

かさねてありがとうございました。

福沢諭吉は一万円札、私は一億円札

これはもう私がここ何十年となくいつてきたことですが、みなさまご承知のとおり、福沢諭吉は名言をはきました。その名言のゆえに、福沢諭吉はいまも一万円札に印刷されており
ます。

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずといえり」

これはヨーロッパの哲学者がいったことばで、名言なので諭吉はこれを日本語に訳して、明治維新の日本人に紹介したわけです。

なるほど、それは真理だということで、いまだに名言としてもはやされておりますが、私からみれば、それは男の限界です。

「天は人の上に人をつくらず」ではなく、「人類の母性は絶対に人以上の人を生まないし、人以下の人も生まない」。これが真理なのです。だから結論的にいえば、福沢諭吉が一万円札

なら、私は一億円札の値打ちがある。

しかし、福沢諭吉に、「人類の母性は人以上の人を生まず」といわそうとしても無理なのです。どうしても男にはそういう経験ができないから。

女性 は 自然の法則として、その真理を身に体しております。みなさんは、お産のときに、どう思われますか。「あたりまえに、人間であってほしい」。これはみなさん共通の願いですね。

あたりまえの人間を産むという確信のもとに、瞬間、自分の命がなくなってもいいという決意をするのです。その決意なくして、なぜに新しい命が産まれることができるでしょうか。そういう体験を男はすることができないから、男の限界というものは、母親からみれば、実に宿命的ではあるけれども、気の毒のいたりなんです。

そういう男たちが、どういうわけか歴史的に政治の中枢にあって、男のおもうままの社会構造をつくってきました。男のおもうままの社会構造とはなにか、つまり差別構造です。

その権力の座にあるものが、自分のおもうままにふるまってよろしいという、これはいっ

たい誰にあたえられた権利でしょうか。

勝手に自分でそういう権利があると自負しているだけのことで、自然の法則からみれば、非常に僭越のいたりだと思いますね。

平等こそは平和の原則

もう何年かすれば、世界の政治はおそらく半分以上は、女性にゆだねられる時期になるのではないのでしょうか。

さもなければ、人類の進歩などということはありえません。人類の進歩とは何をいうのか。この差別構造をなくしていくということが、もっとも単的な人類の進歩の形だと私は思います。

この世のなかに差別があるかぎり、絶対に平和にはならないんです。平等こそは平和の原則である。今日、このことばをおぼえてかえってください。

「人類の母性は人以上の人を産まず、人以下の人を産まず」

これもおぼえておいていただきたい。

「平等は平和の原則である」

平等なくして平和はないんです。

しかし、世のなかをみれば、そういっきに思うようにはなりません。敗戦後四一年、あの敗戦直後のぬりつぶした教科書の文字が、またふたたび教科書になってあらわれようとしている。

時代はすすんだかと思えば、また後退し、一つの波をうっていくんです。その波をうちながら、人間は人間であるゆえに、人間的進歩をとげていく。これは法則ですから、だれも妨害することはできません。

昭和二年の天皇の「人間宣言」

昭和二年といえますと、敗戦の次の年です。敗戦の年はもちろん、私たちにたいへんな印象をあたえましたけれども、昭和二年という年も私は記憶するにあたいうる年だとおも

います。

昭和二年の一月一日、天皇は自分は神様ではなく、人間であるという宣言をしました。有名な天皇の「人間宣言」ですね。

そんなバカなことはいけません。もともと人間なんだから。ところがそれをきいて、みんなよろこんでいる。あの人が何をいっても、みんなにたいへんよろこばれるんですね。

天皇はこんど人間になった、ということを皮肉って書いた私の小説に『野づらは星あかり』というのがあります、これはある意味では、『橋のない川』以上に、日本の歴史をえがいたものとして、後世に残る名作だとおもっております。

そのなかで、なぜ天皇は神様から人間になるのか、とふしぎがる中学生を設定しました。

学校で進化論をならうと、みんなサルから人間になったというのに、天皇だけは神様から人間になったのだから進化の逆じゃないか、そんなおかしい話はない、どうもつじつまが合わないように、その中学生はおもうわけです。

その中学生の疑問に対して、戦地から帰ってきたお父さん、長いあいだ捕虜生活をしてき

た百姓のお父さんは、子どもにわかるようにはなします。

それは進化論に反していない、天皇はもとは、財閥と軍閥にひきまわされておったサルだったんだ。天皇自身もいいましたね。戦争は自分が知らないうちに財閥と軍閥がやったんだ、それに自分は宣戦布告の御名御璽の判をおしたただけだと。

判をおすだけなら、おそらくサルでもできるんですね。だから軍閥と財閥に引きまわされておったサルが、そのひもをたちきって独立したから、解放されたから、軍閥・財閥から解放されたから、今度人間になったんだ。だから、サルから人間にやはり天皇はなったんだから、進化論の逆ではない。それでいいんだと、こう説得する場面があるんです。

これは、私のフィクションですよ。ここにもられた私の意図は、みなさんおわかりになるでしょう。それくらいのことは、おわかりですね。

『橋のない川』のこと

『橋のない川』は名作だ、傑作だと、いまごろになってみなさんおっしゃってくださいるん

ですが、あれを書いた当時にいってもらいたかった。

もう書いてから二十数年たつんですが、しかしいまになってわかっていただいたということとは、それだけ世のなかが進歩してきた、みなさんが成長したということですから、かならずしも、悲観するに値しないんじゃないか。やはり、よろこぶべき現象ではないかとおもっております。

それにしても、まだまだよみたりない。これは名作とか傑作とかいう枠をこえて、日本人はすべて人間として読む責任があると、私は今日ここでいいきる。

世のなかには、みょうな人がいて、『橋のない川』は、島崎藤村の『破戒』をこえる名作である。そういうと、私が文豪島崎藤村と肩をならべる作家であることになり、私がよろこぶとも思っているのでしょうか。

どっこい、そうではない。島崎藤村が人間をみた目と、私が人間をみる目はぜんぜんちがいます。同じに部落をあつかったからといって、同一に論ずべき作品ではないんです。

そのことは、みなさんあらためて本をおよみになれば、よくわかると思います。

そういうことをくぐだといっていると、時間がなくなるんで、いそいで本題にはいります。いままでの話は序文ですよ、これからが本論です。

地球に生まれた人間は自由で平等

昭和二十一年一月一日、人間宣言をした天皇は、十一月三日、新しい憲法公布記念の勅語というものをしております。

その勅語のなかに、ながい勅語ですが、こんどの憲法は、いままでの憲法とちがい、旧憲法とちがい、天皇絶対であるといった過去の明治憲法とちがい、人類の普遍的原理にしたがったものである。人類普遍の原理にたつて訂正された憲法である、人類普遍の原理がもられている憲法であるといっているんです。

かんたんに言えば『明治旧憲法は、人類普遍の原理からそれておった、てまえ勝手な憲法であった。しかし、こんどは人類普遍の原理にそったものである』と明言したわけです。

人類普遍の原理とは何か。それは、人間はすべて自由である、地球に生まれた人間はすべ